マイクロバブルバス

取扱説明書

マイクロバブルバス

ご注意

☆　ご使用の前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

☆　警告表示や注意事項を守らないで不適切な扱いをすると、事故の原因となることがあります。

☆　お読みになったあとは取扱説明書を大切に保管して下さい。

目　　次

ご使用になる前に　・・・・・・・・・・・・・・・・　３ページ

安全にお使いいただくために　・・・・・・・・・・・・・・・・　３ページ

本体および付属品　・・・・・・・・・・・・・・・・　６ページ

各部の名称　・・・・・・・・・・・・・・・・　６ページ

ご使用方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・　７ページ

故障かな？と思ったときは　・・・・・・・・・・・・・・・・・　８ページ

仕様　・・・・・・・・・・・・・・・・・　８ページ

保証書　・・・・・・・・・・・・・・・・・ページ番号無し

このたびはマイクロバブル発生装置「MBーⅡ」をお買い上げいただき、誠に有難うございました。

ご使用になる前に

この、マイクロバブル発生装置の箱には、以下のものが入っております。

過不足を確認の上、作業をはじめてください。

１．本説明書	１部
２．保証書	１葉
３．マイクロバブル発生装置本体	１式
・本　体	１機
・吐出ノズル（赤）	１個
・吸水フィルター（青）	１個
・ホース（赤、青）	２本（赤１本、青１本）
・パッキン	８枚
・電源アダプター	１台

＊赤や青は、部品や口金の色をいいます

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するためにも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：**誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

注意：**誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。**

マーク表示の例

必ず実行する必要があることを示しています。

記号は、禁止の行為であることを示しています。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、濡れた手での操作禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

警　　告	
禁止 	**■　コンセントは、浴室内に設置しないでください。** 感電、火災、故障の原因になります。
	■　コンセントの定格容量を越えないようにしてください。 不足の場合は、コンセントを増設してください。 本機は、ＡＣ１００ｖ・１Ａの電流が流れます。不足すると本機の電源プラグや分電盤のブレーカーが誤動作したり、火災・故障の原因になります。 （増設は、販売店に相談するか、または電気工事店に依頼してください。）
	■延長コードは使用しないでください。 コードを長くする必要がある場合は、販売店にご連絡ください。 延長コードを使用すると、火災、故障の原因になります。
濡れ手禁止 	■濡れた手で、電源プラグを操作したり、電源プラグの抜き差しを行わないでください。
	■小学生以下のお子様による操作は、ご遠慮ください。
	■長期使用で、コンセントの刃受け部がゆるんでいたり、緑青（ろくしょう）が発生している場合は、コンセントを新品に交換してください。 火災、故障の原因になります。（交換は、販売店に相談するか、または電気工事店に依頼してください。）
	■電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、コンセントに確実に差し込んでください。 ほこりが付着したり、差込が浅いと、プラグの部分が加熱し、火災の原因になります。
	■電源プラグを抜く時は、プラグを持って抜いてください。 コードを引っ張って抜くと、芯線の一部分が断線して、火災、故障の原因になります。
水濡れ禁止 	■本体に水をかけて洗ったり、浸水させたりしないでください。 本体は防滴構造になっていますが、完全防水ではありません。 本体に浸水すると故障の原因になります。

禁止 	■本体を傾けたり、倒したり、また本体を浴槽のフタの上に置かないでください。 また、本体にタオル・衣類などをかぶせないでください。故障の原因になります。
	■電源コードを加工（切断・接続等）して、短くしたり、延長しないでください。） また、コードをドアなどにはさみ込んだり、たばねたり、重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。 コードを破損したり、コードの表面を傷つけた場合は、使用しないでください。 感電、火災、故障の原因になります。
	■電源プラグの抜き差しにより、本機の運転や停止を行わないでください。 停止する時は、必ず運転スイッチで停止してください。感電、火災、故障の原因になります。
	■湯加減を手で確かめてから入浴してください。 やけどのおそれがあります。 **ＭＥＭＯ** **本機にお湯を温める機能はありません。**
禁止 	■吸入ノズルキャップがゆるんだ状態や外れた状態で入浴しないでください。 故障の原因になります。
	■吸入口をふさがないでください。
	■運転中に浴槽内のお湯に潜らないでください。
	■小さなお子様だけの入浴はさけ、大人の方が一緒にご入浴ください。 吸込口に髪の毛などが近づくと、吸込まれるおそれがあります。
必ずプラグを抜く 	■本体を浴水中に落とした場合は、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。 故障の原因になります。
	■雷雨時は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。 故障の原因になります。
	■こげ臭い等の異常があった時は、運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。 異常のまま運転を続けると故障の原因になります。
禁止 	■本機を通常の入浴以外に使用しないでください。
	■本機は業務用対応機種ではありません。業務用として使用しないでください。
	■体調に異常を感じた場合、皮膚に異常（湿疹、かゆみ、傷、やけど等）がある場合、および伝染性の疾病にかかっている疑いのある方、その他疾患のある方は、使用を中止して専門医にご相談ください。
	■体調のすぐれない時や酒酔いしている時は、入浴を控えてください。 体力の弱っているお年寄りや乳幼児の入浴は、専門医にご相談ください。
	■入浴前に、身体に付いている化粧品や軟膏等もおとしてから入浴してください。 身体に付着している細菌や汚れ等を浴槽に持ち込むと、他の人が疾病を起こしたり、入浴水のにごり、臭いの原因になります。
	■浴槽の湯を口に含んだり、飲んだり、水中に潜ったりしないでください。

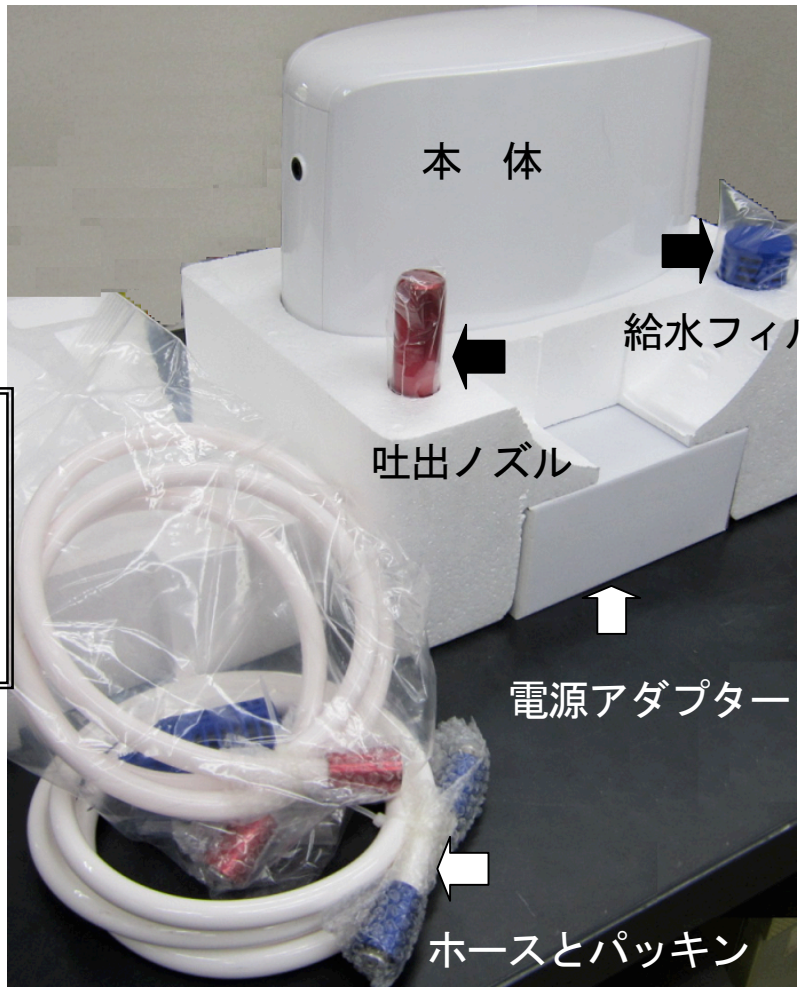
本体および付属品

各部の名称：本体および付属品は以下のとおりです。

１．　Ａ４サイズの横書き冊子です。（１冊：本紙）

２．　保証書（お客様の記入事項と販売店の印や日付を確認ください）

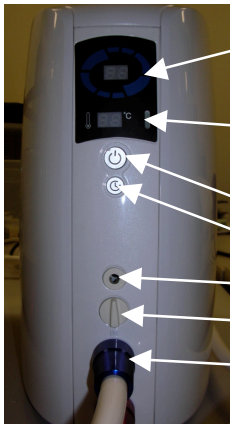
３．　マイクロバブルバス（下の写真）　一式



切替レバーの位置は、下の写真のように、垂直位置でご使用下さい。
水平位置にて、ご使用されますと、循環動作となります。

切替レバーの位置

操作パネル、運転スイッチ、ほか



表示部１（運転表示）

表示部２（温度計）

運転スイッチ（兼、停止スイッチ）
運転時間切替スイッチ（20 分～60 分）
注気口（外部気体）
切替レバー
給水口／吐出口

運転中は LED が点滅します

左は運転時間２０分間を表示
運転時間の切替
スイッチを押す毎に１０分間延長
20→30→40→50→60→20（戻ります）

＊注気口の浮上りは、チューブのロックを解除する為に必要で、製品の不良ではございません。

ご 使 用 方 法

ご注意：本体の吸水口、吐出口は、キャップされております。キャップを外す時には、本体内部

から水がこぼれ出る場合があります。床等に水がこぼれないよう、ご注意下さい。

出荷前の通水試験での水が､わずかに残っている場合があります｡予め､ご了承下さい。

１．電源プラグを差し込みます。
　　電源プラグをコンセントに差し込みます。（ＡＣ１００v のアダプターとＡＣ１００v：コンセントに接続）
２．ノズルヘッドを浴槽に入れます。（赤い、アルミ製の円筒で、先端に孔があいています。反対側はネジ）
　　吐出ノズルヘッドと吸水ノズルヘッドが水（４５℃以下の湯）面下に位置するように、浴槽に沈めます。
　　（ノズルは横位置でも使用できます。）
３．運転を開始します。
　　電源アダプターの出力（丸いプラグ）を本体背面（表示部と反対の対抗面）にある、接続部に入れます。
　　（差込後、捻って留めることで、防滴機能を持ちますが、**防水ではありません**。）
　　運転スイッチを押すと、メインポンプが作動してマイクロバブルが発生します。
　　（最初の発泡までには、約１分～２分間程度の時間が必要です。）
　　運転を開始すると運転時間（停止までの残り時間を分単位で表示）が表示されます。
　　運転時間は、１０分間単位で、最長６０分間です。
　　運転スイッチを押すと、２０分間を示す､「２０」が表示されます。
　　運転が開始されると、運転時間の切替がスイッチで可能となります。
　　運転切替スイッチを押す毎に、１０分間増加し、標準時間の２０分間に戻ります。
　　切替スイッチを押す度に、表示は以下のように循環変化いたします。
　　２０→３０→４０→５０→６０→２０→３０・・
　　表示時間は、運転と供に、減少してゆき、残り時間が２分になると、電子音で知らせます。
　　＊電子音は､「ピピッピ、ピピッピ」といった感じの電子音（複数回、発音します）
４．運転が自動的に終了します。
　　設定時間が「０」になると運転が自動的に終了します。
　　残りの運転時間が、２分間になると電子音で、“まもなく運転を終了します意味”の音が発せられます。
　　（放置しておくと、自動的に運転は終了します。）
５．逆洗（ぎゃくせん：電源ランプも消灯しますがポンプは動いています）
　　運転停止時に、メインポンプは停止せず、ポンプは継続的に動作して、装置内にある、
　　残り水を排出し、次回の動作に備えます。（流れが逆になるので、逆洗浄といい、所要時間は数分間です。）
　　逆洗浄でのポンプ停止時が、マイクロバブルバスの完全な停止です。（電源をプラグを抜いて下さい。）

ＭＥＭＯ

・　運転の途中で停止する場合は、運転スイッチを押して、運転を終了することができます。
　　但し、逆洗浄が終わるまで、数分間待ってください。
・　本体内および吐出ノズルの水を排出するため、設定時間の表示が「０」になってから暫く運転を継続します。
・　沐浴剤（入浴剤）は、使用しないでください。故障の原因になります。
・　はじめての入浴使用に際し、事前に小さな容器（バケツ、洗面器、等）で、運転確認をお奨めいたします。

詳しくは、販売代理店にお問合せください。

・　連続して使用する場合は（１時間を超える場合)、運転終了後９０秒以上待ってから運転を再開してください。
・　ノズルキャップに毛髪などがついている場合は取り除いてください。
　　※　はじめての使用に際して・・本装置は、全数検査を二重に行っております。本装置内に微細な残留物等が、

検査時には検出されずに出荷される可能性は否定できません。（８０Ｌ以上の通水を実施）
はじめての入浴時には、直ぐに人が入浴せず、泡の様子を見てからの入浴をお奨めいたします。

故障かな？と思った時は

修理を依頼される前に・・
マイクロバブルが発生しない、本体に通電しないなど、故障かな？と思われましたら、修理を依頼される前に次の点検をしてください。

- 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
- お湯（水）の水位は規定以上ですか？　＊水位は、マイクロバブル発生装置に等しいか、装置より低位に。
  また、吐出ノズルと吸込ノズルが湯（水）の中に完全に入っている状態でご使用ください。
- お湯の温度が異常に高くなっていませんか？（摂氏４５℃以下でご使用ください。）

警告

動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため、すぐに本体の運転スイッチを押して運転を停止してください。
その後、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または工事店に必ず点検・修理をご依頼ください。
感電や漏電・ショート（短絡）などによる火災、故障のおそれがあります。

ＭＥＭＯ

・　本機器が作動している場合でも、次の場合は、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または工事店に必ず点検・修理を依頼してください。
　○　異音、異臭がする。
　○　本体に水が入った。
　○　電源プラグが異常に熱い。

仕様

電源	アダプタ入力	商用電源　ＡＣ１００ｖ（50Hz／60Hz）
	アダプタ出力	ＤＣ＋３６ｖ（ 2.5A :MAX）
消費電力		９０ｗ（最大値：突入時を除く定常運転時）
連続使用可能時間		６０分間（切替式：２０分→30→40→50→60→20→・・）
吐出量		毎分４リットル
適合浴槽	浴槽の種類	一般家庭用
	容量	２０リットル～２００リットルまで
適応温度範囲		＋５℃　～　＋４５℃（摂氏温度）
本体重量（本体に水の無い状態）		７．８ｋｇｆ（Dry　Weight）
本体寸法		幅１５０mm×高３００mm×奥行３６０mm

※　記載されている内容は、予告無く変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

Ver : 1.05
SR-20130625

ご使用の準備に付いてのご注意

以下は、梱包から「マイクロバブル装置」を取り出し、ホースの接続を接続する時のご注意です。

- 本体の給水口（青色）、吐出口（赤色）から、試験後の残水が出る場合があります。
- 試験後に、装置内の残水を処理しておりますが、輸送中に水が降りて来たりします。
- 僅かに残水がこぼれ落ち、床等を濡らさない様に、ご注意下さい。
- 輸送中に、給水口、吐出口から、水が出ないよう、吸水性のパッドを貼ってあります。
- ご使用の前に、必ず剥がしてください。

以下に手順を記載します。

本体正面

キャップを外します

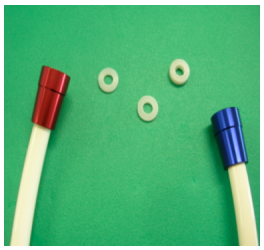
フェルト・パッドです

パッドを剥がします（パッドは不要物です）

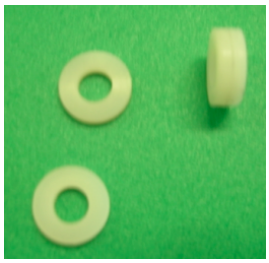
吐出口（赤色）も外して下さい。

ホースの接続に付いて、以下に記載します。

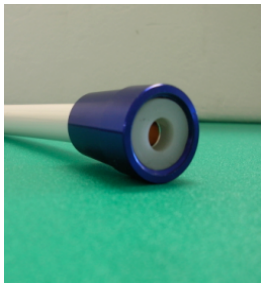
・本体ねじ込み部分の下に手が入る空間を確保してください。
（マイクロバブル発生装置の入った、発泡材などで、安定させて下さい。
左は、梱包されていた発泡樹脂を使用した写真です。）



ホースとホースの袋にある、小袋の中から、８枚の白いゴムパッキンとを準備します。



・白いパッキンを２枚重ねて、使用します。
・パッキンを２枚重ねると、写真右端のようになります。
（赤いバブル発生用ホースも、青い吸水ホースも同じ手順で行います）



この状態で、接続部ネジを締めると、旨く締まらず、力も必要です。

ポイント

※　二枚のパッキンを重ねる際に、水をつけてから、作業して下さい。

重ねたパッキンを、接続金属内に置きます。（指で押し込みます）

ホースのネジを１回転ほど廻します。（パッキンを忘れずに）

口金を押さえて白いホースを手前に引くと、若干動きます。（写真では黒点を打ちました）

３mm程、動くので、ホースを手前に軽く引いた状態で、接続ネジを廻します。

※　締めが、堅くなって来たら、ホースを少し動かして（上下に揺らします。）締めます。
※　作業時に手や口金が濡れていると、滑ります。
※　接続の前に、青い金属部分に予め、ゴム輪を巻いて置くのも方法の一つです。

以上、

お手数をおかけ致しますが、怪我の無い様、作業を、お願い致します。